2016 年 12 月 10 日発行

Keio University

東村山三田会 Vol. 5

発行人：松田　博　編集人：東村山三田会会報編集委員会　発行所：東村山市廻田町 4-10-12　TEL：042-392-0378

会長　　松田　博

会員の皆様、今年も残すところわずかとなりました。皆様には、日頃より東村山三田会の諸々の活動に大変ご協力をいただき、有難うございます。

東村山三田会も、皆様ご存知のように、地歩固めも終わり、会の運用も軌道に乗ってきております。特に、諸々の会のイベントに参加され、お互いに大学の同窓生であっても今迄は見知らぬ人であったのが、会の活動に参加する事によってお互いを知り、自ずと共通の話題に話が弾み、お互いかつての大学生時代に戻った感覚を得て、親交が深まると共に再会するのが楽しみになってきております。

これも慶應義塾大学という学び舎のなす業ではないかと思っています。

某週刊誌（１０月１７日発行）に「早稲田 VS 慶應」の大特集が掲載されているのを目にしましたが、そこに、慶應義塾三田会のネットの強さは、早稲田の比ではないといったような褒め言葉が踊っていました。なんとなく面映い気持ちになりましたが、必ず会の締めは“若き血”で幕を閉じるという事でも実感した次第でした。まさにこれは慶應義塾の魅力であり、卒業後の人脈の強さに繋がっていると思っています。

明年１月２８日（土）は、サンパルネ・コンベンションホールを会場に、昨年ご好評をいただいた講演会に引続き、西東京にある“多摩六都科学館”高柳雄一館長の第２回目の講演会を予定しています。

地域貢献の一環でもあるイベントです。会員の皆様も積極的に参加されるようお願いいたします。

今後も、今まで以上に東村山三田会を通じ、同窓生としてのさらなる親交と連携を深め、会を憩いの場として活用し、有意義で楽しい日常を過ごされますよう願っております。

平成２８年度 忘年会開催される

今年の忘年会も少し早めの開催でしたが、会場の確保が難しく１１月２３日（水）となりました。

廣田氏の司会のもと、多彩で色の濃い楽しい内容になりました。会長挨拶の後、紿田副会長（ワグネル・ソサィエティー・OB オーケストラ所属）のバイオリンによるソロ演奏（３曲）で心を和ませました。

会場内はうっとりと聞きほれ、終わると強い拍手が会場を揺るがせます。

来賓者は、薬学部 KP 会：近森理事、東村山稲門会：山本・岡田両副会長、西東京三田会：樋口副幹事長、大内副会長、小平三田会：吉川副会長のご臨席を賜りました。

来賓代表挨拶として、薬学部 KP 会理事の近森様より、ご祝辞をいただきました。

３３名の会員に６名の来賓を加え総勢３９名の皆さんが集い、懇親会は廻田囃子連によるオカメやキツネに扮してのチンドン踊りを横笛や鐘・太鼓の音にのせ、会場いっぱいに轟かせ、壇から下りて、観ている人達の間に入って踊りました。中でも、小学生達の可愛いい動作と機敏な動きに、我を忘れて見入ってしまい

ました。まさに忘年の極みです。これで会場が一気に盛り上がったところで、佐藤辰弥会員による乾杯へと移り、西東京三田会大内様からの挨拶の後、しばし近況の交換、往時の話等々で和やかな歓談となりました。そしてビンゴゲームへと移りました。陳列された豪華な賞品を前に、担当者からゲームや商品の説明を受けた後、番号の読み上げが始まりました。暫らくしてリーチがかかったのですが、ビンゴとはなりません。最初のビンゴは来賓で参加された吉川副会長で、終盤にビンゴが重なり合い、担当者はてんてこ舞いでした。お疲れ様でした。フィナーレは、応援歌と早稲田大学校歌、最後に若き血を肩組みあって合唱が行われ、紿田副会長による締めの挨拶の後全員での写真撮影を行いで閉会となりました。（松田　博）

第５回「デュオの会」コンサートに協賛

１０月３０日（日）に東村山市「富士見公民館ホール」にて第５回「デュオの会」のコンサートが開催されました。

「デュオの会」は、平成２４年に東村山市及び近隣に在住の若いピアノ講師４人が結成した演奏グループで、「小さなお子様にも音楽に触れ合う機会を」という趣旨のもと、０歳児から聴けるコンサートをピアノ教室があった八坂駅に近い富士見会館ホールにて開催しております。

今回、東村山三田会は、その設立趣旨にある「地域への貢献」の一環として、「第５回デュオの会コンサート」に協賛させて頂くことにしました。

具体的には、このコンサートを側面から応援することとし、市の施設にチラシを貼ったり、置いたり、会員や会員知人へのチケット配布、当日の受付サポート、当三田会ホームページへの掲載等を行いました。

更に、当三田会の紿田副会長にバイオリン演奏の賛助出演をして頂きました。

因みに紿田副会長は、慶応義塾ワグネル･ソサィエティー･オーケストラのコンサートマスターを務めたヴァイオリニストでもあります。

今回は、ピアノの詩人と呼ばれるショパンの名曲が演奏されましたが、お子様同伴のお客様も多数見受けられ、大変熱心に聴いて頂くことが出来ました。

１時間のコンサートでは有りましたが、東村山市及び近隣在住の地域の皆さんに大変感動頂けたコンサートとなり、来年度もまた是非協賛させて頂き、地域貢献の一助に資することが出来たらと思っております。

（斉藤 忠義）

第４回誕生会が開催されました

誕生会概要は次の通りです

日　　時：１０月２２日（土）　　１７時３０分～２０時

場　　所：本町一丁目　　和食麺処「サガミ」　会　　費：４，０００ 円（飲み放題付き）

参加者：誕生月が２、５、８、１１月の会員１０名、他に役員５名の計１５名

今夏７月開催した第３回誕生会で一巡しましたので、二巡目に入る第４回誕生会は誕生月の組み合わせに一工夫して、２、５、８、１１月生まれの会員を対象としました。

対象者２５名中１０名が参加、初参加は前田正明さん、坂上道子さんのお二人でした。

司会は紿田副会長。会長挨拶及び乾杯で懇親会が始まりました。席は自由、同窓という気安さもあり、ものの１０分も経てば卒業の年次を超えて１０年の知己の如く歓談し、場が十分に和んできたところで、誕生月に該当する会員には順次自己紹介かたがた近況などを一言となりました。

話は各同好会の最近の活動状況にも広がり、時間は全体に押し気味で、あっという間の賑やかな２時間半でした。初参加の前田さん、坂上さんは同好会未加入とのことで誘いの声が掛かりました。宴たけなわとなったところで誕生月対象者には、若手代表の朝木さんから恒例の花の贈呈と締めの挨拶があり、記念写真を撮ってお開きとなりましたが、まだ喋り足りない、飲み足りない（飲み放題にも拘わらず）面々は自然と二次会へ流れました。

さて､毎回新たな情報に接することができると共に､更に友好が深まってくるのがこの誕生会の特徴です。

第５回誕生会は３、６、９、１２月生まれの会員が対象で、来年２月１８日又は２５日を予定しております。開催場所、時間、会費は今回と同じです。該当会員には改めてご案内を差し上げますが、特に、前回都合で参加できなかった方、同好会にまだ参加されていない方には、誕生会は会員相互の親睦を深める絶好の機会ですので、是非ご参加ください。（岡崎 尋幸）

同好会通信♪

☆慶美会（スケッチ同好会）☆　　大滝　恒雄（７名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp】

名前はもうある。「慶美会」。皆さん気に入っているようだ。男性６名、女性１名の構成だ。年齢構成は米寿の方が２名、アラエイティが３名、６０代が１名、現役が１名となっている。暑い、寒い日はやらない。いたってお気軽なわがままな会だ。だから出席率１００％。これまで、小平のふるさと村、国分寺駅前の殿ヶ谷戸公園、小金井公園の江戸東京たてもの園、東伏見の武蔵関公園などにスケッチに行った。

一度人物のデッサンもいいねということで、公民館で若い女性のデッサンを行った。油絵、水彩と好きな様に描いている。終わった後は東村山駅前の焼き鳥で一杯が定番になっている。雨天の場合はここに集まるのだが幸いにしてそのケースはまだない。その日に描いた作品や最近描いた作品を披露してアドバイスを頂戴する。恥ずかしがる必要はない。皆褒めてくれるから。会のモットウは好きなように好きなものを描くことだから。ご興味のある方は是非お試しあれ。

☆食べあるくかい？(グルメの会)☆　　櫻井　正廣（２０名）

【世話役　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com】

イタリアン：　天麩羅、蕎麦と和食が続いたので、趣を変え、６月１８日（土)、イタリア国旗の看板を掲げる「ロ・スティヴァーレ」に、１８名が集いました。このお店は、２３年に亘りトスカーナ地方やフィレンツェで修業、レストランを開業していた東村山出身の小島シェフが、２０１２年に開店したもので、当会幹事長斉藤さんのお母様の実家でもあります。

本場の味に拘り、トスカーナ産エクストラバージン『オリーブオイル』とまろやかでコクのある１６年ものの『バルサミコ酢』を使った、アンティパスタ３種、夫々２種類のパスタ及びピッツァにフィレンツェ風の牛肉ステーキに舌づつみを打った次第です。中でも、イタリア直輸入の強力粉と薄力粉を独自の割合でブレンドし、店内の本格的な石窯で焼き上げたピッツァは絶品でした。

座席配置の関係もあり、経験豊かな女性陣６名のテーブルを作りましたところ、さながら女子会の雰囲気で、麻雀をやろうとか、女性だけの会も作ろうかとかなり盛り上がっていました。その他のテーブルも、静かにカンツォーネが流れるなか、樽で輸入しているフレッシュ感溢れるハウスワインを楽しみながら、夏至の頃とは言えさすがに暗くなる１０時近くまで、和やかに歓談しました。

家庭懐石：　日暮れの早まりとともに一段と冷え込み、冬の到来を思わせる気候となった１１月２１日（月)、住宅街に佇む隠れ家的一軒家の「三澤」で、１５名の参加を得て開催しました。料理長でもある女将さんが水引で自ら創作・作成した様々な草花で飾られた和室（座るのが苦手な人にも配慮したテーブルと椅子の配置）に入ると新しい畳の芳香を感じました。

料理は霜月のお任せメニューで、豆腐田楽、銀杏の松葉刺しや牡蠣のころ煮等７種類の料理が綺麗に盛られた前菜に始まり、マグロ、ホタテ等３点盛のお刺身、和風ドレッシングの野菜サラダ付き牛肉のトマト煮が出されました。その後、伊勢海老のテルミドール、海老、野菜の天麩羅と続き、〆はカニ肉がたくさん入ったカニちらし、吸い物、香の物で、デザートにメロン、コーヒー/紅茶の献立でした。

伊勢海老は、チーズ味がそれほどしつこくなく、ボリュームもたっぷりあり、皆さんに好評でした。

程良い間隔で提供される美味しい料理に、ビール、ワイン、日本酒等、夫々の好みの飲み物を自分のペースで飲みながら、思い出話やトランプさん等直近の話題に話が尽きることなく、この日も、時間の立つのも忘れ、賑やかに歓談しました。この会は、自分の好みの酒を飲み放題（言うまでも有りませんが、自己責任/負担です！）と言うことで運営していますが、皆さん、節度を持って、心地よくお酒を楽しんでおられ、さすが、三田会の集まりと感じています。

＝開催したお店の紹介＝

イタリアン	「ロ・スティヴァーレ」	野口町３－５－９	042-306-3824
家庭懐石	「三澤」	野口町３－４－８	042-392-2280

☆あるいて三田会東村山☆　　小島　安雄　（１５名）

【世話役　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com】

歩く会の世話役については、私（櫻井）から藤田和之さんに交代致しましたので、連絡させて頂きます。

藤田さん連絡先は下記の通りです。kazuyuki_fujita@hotmail.com

携帯：090-2549-6781　　固定&FAX：042-394-4280

＜ 国分寺の史跡と湧水を巡る（１０月２９日）＞

前後、まずまずのウォーキング日和に恵まれました。国分寺駅北口の西武線改札口付近に集まったのは８名（朝倉、小島、櫻井、鈴木、田﨑、廣田、藤田、松田）。

予定どおり９時３０分、国分寺駅北口をスタートし、ＪＲ中央線沿いに閑静な住宅地を歩き、やがて着くのが「姿見の池」。東京都の名湧水５７選のひとつで、鎌倉時代に遊女が朝な夕なに自らの姿を映して見ていたと言い伝えられています。この辺りは緑地保全地域として豊かな自然を次世代へ残すべく多くの努力が払われてきたとのこと、これに敬意を表しつつ再び歩きます。

西国分寺駅周辺に出ると高層住宅が林立し南口側整備も進み、この地域の発展状況が分かります。

一方で古い歴史を持ち、都と国府を結ぶ古代官道である「東山道武蔵路跡」が南北に残されています。そのスケールの大きさに一同目を見張りました。

東山道の東方向に「武蔵国分僧寺」、西方向に「武蔵国分尼寺」が配置されています。僧寺、尼寺とも全国的にも最大規模の国分寺史跡として、礎石や塀などが復元されていました。金堂・講堂・経蔵などの礎石から壮大な伽藍であったであろうことに思いを馳せ、古代のロマンをたっぷりと感じとることができました。

次に向かったのが「お鷹の道・真姿の池湧水群」。国分寺崖線の湧き水を水源とする清流沿いの道で、全国名水１００選に選ばれ、「ほたるの住む川」としても有名です。道すがら地場産の新鮮な野菜・果物の売店があり、Ｔさん・Ａさんが買い求めていました。

急階段を上り北側の道路に出た頃から、最年長のＡさんの足取りがやや重くなりましたが、皆に励まされながら無事に昼食を予約してあったお店「結い」に到着できました。「結い」ではほぼ２時間、季節の釜飯をメインのコース料理に舌鼓をうちながら談論風発、楽しいひとときとなりました。

十分にエネルギーを補給して活力を取りもどしたところで、近くの「殿ヶ谷戸庭園」へと向かいました。紅葉には少し早かったけれど､起伏の激しい自然の地形を巧みに利用した庭園美を楽しむことができました。

ちょうど３時に国分寺駅南口に戻ったとき、古代の歴史ロマンと清流に導かれて歩いた万歩計は１万歩を超えていました。体を動かすのが好きな方、今度は是非一緒に歩きましょう。

☆ボウリング同好会☆　　加藤　弘子（１０名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp】

ある日のボウリング同好会

現在ボウリング同好会に所属しているメンバーは約１０名です。

活動は月１回、主に月曜日に開催しています。ある日の同好会のレポートです。

この日は久米川ボール前の「ダイヤ寿司」に１１時３０分に集合し、昼食とおしゃべりをたっぷり楽しみ、１３時過ぎにボウリング会場に。ちなみに昼飯の場所は毎回仲間と話し合って決めます。

今回は、都合の悪かった３名を除く７名が参加。２チームに分かれて２ゲームを楽しみました。皆さん今やマイシューズ持参です。第１投よりストライクを出す人、ガータばかりでしょぼくれる人！

スペアやストライクを誰かが取った時には、本人よりも周りが喜び、そのツキが自分にも来るようにとハイタッチをします。力とスピードのある投球で、「コーン！」と言う音がなんとも言えない快さを感じさせてくれます。とは言えベテランの方でもストライクを何度も出すのはなかなか難しいようです。私はボウリングではなく玉転がしのようなので恥ずかしいのですが、毎回ゲームをとても楽しんでおります。

年に１度位ハンディキャップをつけて、優勝、ハイゲーム賞、ブービー賞など設けて開催したらまた楽しいのではないでしょうか？

☆麻雀同好会☆　　朝倉　孝道　（１６名）

【世話役　田中康之（Ｓ５２年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp】

このたび原稿執筆依頼を受けましたが、これといったエピソードの持ち合わせもありませんので、とりあえず私の入会のきっかけあたりからお話させていただきます。

私は当初三田会同好会では唯一櫻井氏の「あるいて三田会東村山」に入会しており、昨年１月の「川越七福神めぐり」で、たまたま「麻雀同好会」の会員でもあった廣田さんからお誘いを受け入会させていただいたものです。

私はもともとゴルフやお酒の席ともに苦手でしたので、人とのお付き合いの範囲が狭く、唯一麻雀だけが周囲との接点と言える状況でした。

そんな折、麻雀は健康面だけでなくボケ防止にとても効果がありそうだと言われ早速その意見に賛同し実行しましたところ、まずまずの効果が実感できました。

以後は、深みにはまらないよう充分気をつけてがんばってまいります。手先を動かすこと、頭を振り絞って作戦をたて、相手の手の内を読みながら自らの「あがり」の完成を目指す行為は脳の活性化にとてもよいと実感できます。

当会は毎月１回の集まりで半ちゃん４回４～５時間くらいの会合です。しごく健全で適当な時間です。

昨年３月、私のデビュー戦で、なんと私が優勝してしまいました。皆さんの暖かいご配慮以外のなにものでもないと思っています。

その後の私の惨憺たる戦跡をご覧になれば一目瞭然です。次に幹事（世話人）の方のご苦労についてひとこと申し上げます。

どのようなサークルにあっても幹事さんには企画力、調整力、リーダー性が強く求められます。ご存知の通り麻雀は４人で戦う競技ですので,できうる限り４の倍数の人の参加が理想なのですが、そううまくいくものではありません。幹事は会員十数名全員に対して都合のよい日を申告させたうえ、ベストの８名とか１２名を完成させるため試行錯誤で工夫を重ねるなど卓越した調整力が必要となります。毎回ご苦労されて難局を打開されている幹事の田中さんにはそのご苦労に頭が下がります。

そのほか麻雀を通していろいろな人との貴重な出会いがありとても楽しく、かつ勉強になります。

印象に強く残った方々として、

・神尾さん・・　一番若くてとても強い人、まともに戦ったらとても勝てる相手ではありません。時々手を抜いて調整してくれます。
・飯塚さん・・　静かな本格派雀士、スマートな打ち手でこの人もなかなか手ごわい。
・小駒さん・・　激しい打ち手、迫力あります。たいがいの人はビビります。
・斉藤さん・・　明るい人。この人の話術は天下一品、話を聞いている間に皆さんの点棒がなくなります。勝負の波が激しく勝ちだしたらとまらない人。
・清水さん・・　とにかく人格者、勝っても負けても皆に愛されています。

さらに続けたいのですが、誌面の都合もありますので終わりにいたします。

このような素敵な人々と引き続きご一緒できることをしあわせに思っています。

開催月	2016 年 7 月	2016 年 8 月	2016 年 9 月	2016 年 10 月	2016 年 11 月
優勝者	小駒 基一郎	朝倉 孝道	飯塚 武彦一	斉藤 忠義	清水 英男

☆俳句同好会☆　　田中　康之　（９名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp】

同好会が発足して２年、毎月１回、週末の午前中に、俳句を楽しんでいます。

なかなか敷居が高いイメージがある「俳句」ですが、テレビの辛口先生のおかげで、だいぶ親しみを持つ方が増えてきました。まったくの初心者の私もその口で、なんとなく誘われて入ってしまいましたが、何とか皆さんについてやっています。

月に数日だけですが、季節の移り変わりや周りの情景に目を配り、１７文字にまとめる苦しさ、楽しさを感じています。月に数日ではなく、もっと時間をかければ良い句ができるかもしれませんが、勉強と同じで締め切りが迫らないと取り掛からないようです。また、時間をかければ良い句ができるかといえば、そうで

もないところが初心者の苦しい所です。

毎月３句を持ち寄り、皆さんに講評をいただいています。なかなか良い評価をいただけないのですが、それはそれで、結構楽しんでいます。

興味をお持ちの方、ぜひ、句会をのぞいてみませんか。

辛口先生が「才能無し」と評価することはありませんので、気楽にご参加ください。

以下、メンバーの自選句です。

山人のぬっと顔出す露葎	岳徒	蜘蛛の巣や雫の中の茜雲	栗丸
廃線が花野に描く赤い帯	**弦六**	烏啼く一直線に秋深し	かえる
干し柿をくぐり湯宿の小径歩す	**凡水**	コオロギや夜空の下のピアニシモ	丸女
やんはりと労ひの風秋桜	蓑	生れ出でて命の果ての蟬しぐれ	洋子

☆カラオケ同好会☆　　加藤　弘子　（２０名）

【世話役　加藤弘子（S39 年卒）　連絡先　朝木直子 azuchima@y9.dion.ne.jp】

カラオケ同好会は、毎月１回、東村山のビッグエコー（旧シダックス）と久米川のカラオケバンバンを交互に使っています。会員は多いのですが普段は６人位で、多いときは１０人位になります。

奥様同伴も飛び入りも大歓迎です。

高齢者が多いため、演歌が多いのですが、ポピュラーを歌う会員もいます。

大体、お酒とおつまみを頼んでおりますが、軽く飲んでいる程度です。無理に呼んだりしませんので、お気軽にご入会下さい。

東村山シダックス最終営業です。

☆ゴルフ同好会☆　　河邊　喬　（１４名）

【世話役　河邊　喬（S42 年卒）　連絡先　tt.kawabe@jcom.home.ne.jp】

１０月２５日（火）「西武園ゴルフ場」にて、参加者１０人の３組で実施。コンペらしい賑やかなラウンドとなりました。裏庭程？の近場のゴルフ場とは言え、初めてプレーするメンバーも多く、また易しいコースと高を括ってスタートした百戦錬磨の面々もコース攻略に苦労の跡がスコアに・・・。今回は各自宅から１０分でゴルフ場、１組目が９時３８分と遅いスタートで、普段のペースと勝手が違って皆さんのプレーの感覚を鈍らせたのかも知れません。天気は朝　晴れ、次第に曇り、上がり２ホール程は小雨。競技終了後の打ち上げ会では、初参加の武田さん、豊本さん、丸さんの自己紹介を始め、皆さんの近況報告。また、青木さんの大阪転勤が急遽判明し、送別会を兼ねた会ともなりました。

次回のコンペは５月頃に開催することを約し、１８時解散。

外は雨、とっぷり日も暮れ、駐車場には我々の車のみでした。

優勝はベスグロの丸さん（初参加）。体幹軸がしっかりした正確なショットを放つ実力者。２位はハンデに恵まれ幸運の河邊さん。３位は飯塚さん。グロス２位の豊本さん（初参加）は６位でした。

上位６位 成績表　（於 西武園ゴルフ場 / HDCP は新ペリア）

順位	氏　名	GROSS	HDCP	NET
優　勝	丸　弘之（S 56）	85	12.8	72.2
準優勝	河邊　喬（S 42）	98	24.8	73.2
3　位	飯塚武彦（S 42）	95	21.2	73.8
4　位	廣田　進（S 33）	98	23.6	74.4
5　位	青木潤一（S 59）	105	30.0	75.0
6　位	豊本節雄（S 56）	87	11.6	75.4

優勝　丸　弘之

☆写真同好会 ☆スタートしました

写真同好会　世話役　稲葉 光亮（６０年卒）

味わい深い四季折々、名所旧跡の見事な風情、祭りの活気、賑わう街・・・地元東村山の素敵な風景を「切り撮る」べく、現在３名で自由に活動しています。

目標は「大好き東村山写真コンクール」の入選と掲げていますが会員の総意ではありません(笑)で、寧ろ

撮影技術の向上が強く求められています。行く行くは技術講習会や撮影 会なども開きたいと思いますし、多摩六都や所沢など近隣の三田会写真同好会とも交流してみたいと思っています。

そのためには、会員がもう少し増えて、まずはこの同好会が体を成すことが課題です。会員エントリーやお問い合わせなど随時受け付けておりますので、ご興味の方はご遠慮なくご一報下さい。

連絡先：mit_tuba_178@yahoo.co.jp（稲葉）

国立リハの銀杏並木　相川 孝

草津賽の河原　斉藤 忠義

団地の春の訪問者　稲葉 光亮

☆活動を予定している同好会☆

・護身術・健康運動同好会【世話役　佐野新太（H6 年卒）　連絡先 art-s313@ezweb.ne.jp】

☆１２月１日現在の総会員数　９０名

退会１名　桝原 克巳（H5）

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール：　higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

編集後記

今年は秋を飛び越え一気に冬が訪れたようで、体調を崩された方もおられるのではと心配です。去年の冬は、山に降る雪が少なく、夏の間は水を雪渓に頼っている山小屋は苦労していましたが、今年は豪雪になりそうですね。ご覧のように同好会活動は活況を呈しています。まだどの同好会にも参加していない会員には是非ご参加をお願いします。投稿欄も開店休業状態、俳句・短歌・個人ブログの紹介など長短を問わず幅広くお待ちしますのでどしどしお送りください。お待ちしております。今号から斉藤忠義さんが編集に参加しています。

（H）　編集委員　廣田眞一・佐藤真和・稲葉光亮